

# 社会保障の機能強化か ベーシックインカムへの導入か

～苦悩する韓国に学ぶ～

【解説】

東京大学大学院人文社会系研究科

金 成垣 (キム ソンウォン)

コロナ禍が示したものの

# コロナ禍で韓国では

## ■経済活動人口調査発表（2021年1月18日）

2020年の非自発的失業者：**220万人**

※1990年代末のアジア通貨危機：186万人，2008年のリーマンショック：179万人

→多くが、**非正規雇用**や**フリーランサー**および**自営業者**など不安定就労層



従来の社会保障制度の受給条件を満たさず



**臨時的で一時的な支援金**

：緊急災難支援金（第1～4次）や災難基本所得など

# 韓国：不安定就労層の雇用保険加入率 (2019年)

就業形態	加入率
賃金労働者	65.8%
正規労働者	78.1%
<b>非正規労働者</b>	<b>44.4%</b>
一時的雇用	56.0%
雇用期間の定めのある雇用	56.4%
継続的更新	77.1%
契約更新なし	18.6%
<b>非典型雇用</b>	<b>29.0%</b>
派遣	72.5%
サービス外注	59.2%
<b>特殊雇用</b> (フリーランサー, 文化芸術従事者, 配達員…)	<b>9.6%</b>
在宅勤務	16.2%
<b>日雇い雇用</b>	<b>5.7%</b>
時間制労働	25.9%

就業形態	加入率
<b>自営業</b>	<b>0.38%</b>

# 多様な雇用形態と雇用保険の適用

雇用保険  
適用外

個人事業主,  
フリーランサー,  
文化芸術従事者,  
ギグワーカーなど  
特殊雇用

不安定就労者

自営業  
家族従事者  
および  
零細小規模  
企業労働者

短期間  
バイト

日雇  
雇用

派遣  
および  
契約職

雇用保険  
適用

正規職労働者

# コロナ禍が示したものの

---

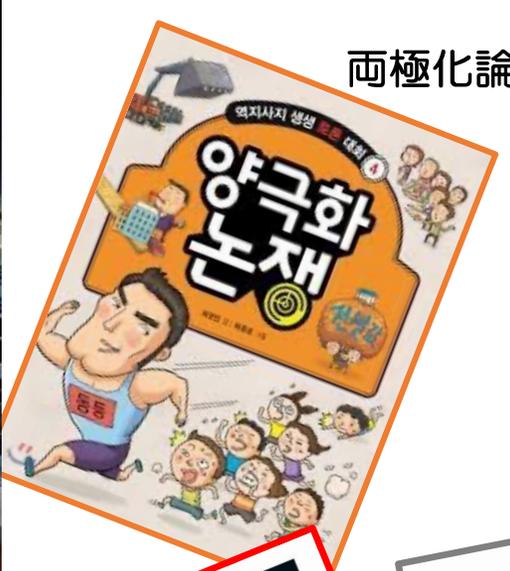
**「外」からの危機は、  
社会の「内」なる脆弱さを照らし出す。**

(宮本太郎 (2021) 『貧困・介護・育児の政治』 毎日新聞出版)

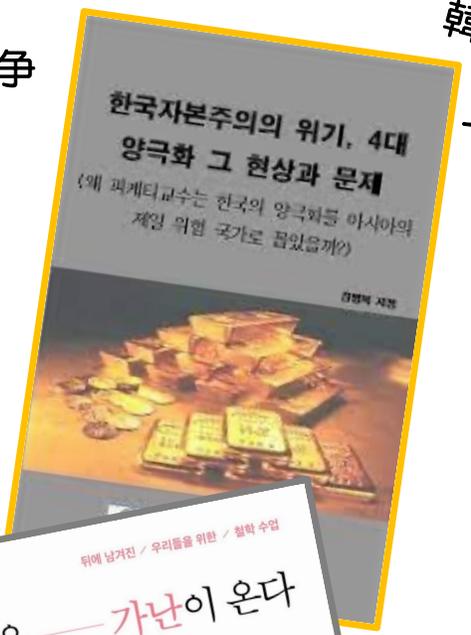
**ずっと前から存在していたにもかかわらず、  
先送りされてきた課題が、  
コロナ禍をきっかけに一気に表面化した。**

(鈴木亘 (2020) 『社会保障と財政の危機』 PHP研究所)

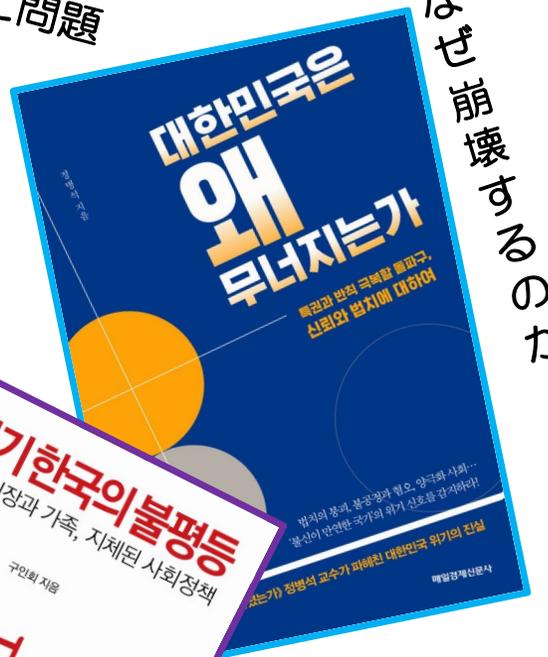
新自由主義 人口減少 受験戦争 未婚・非婚 第4次産業革命



両極化論争



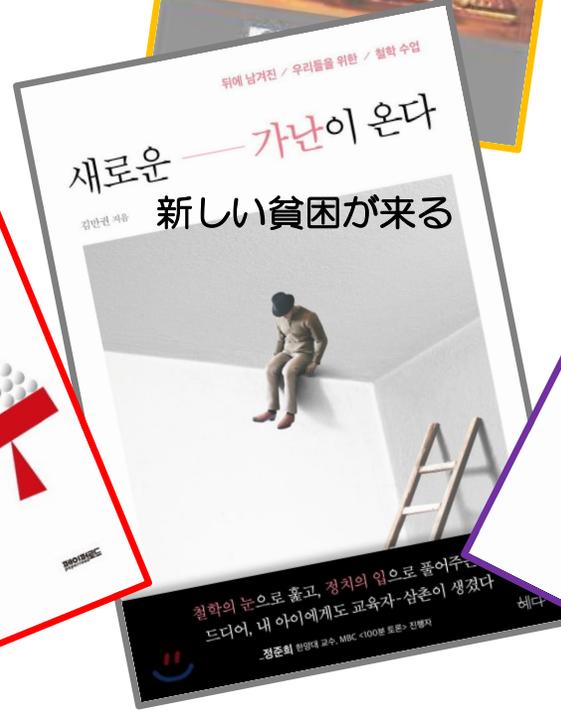
韓国資本主義の危機 4大兩極化 その現象と問題



韓国はなぜ崩壊するのか



多重格差



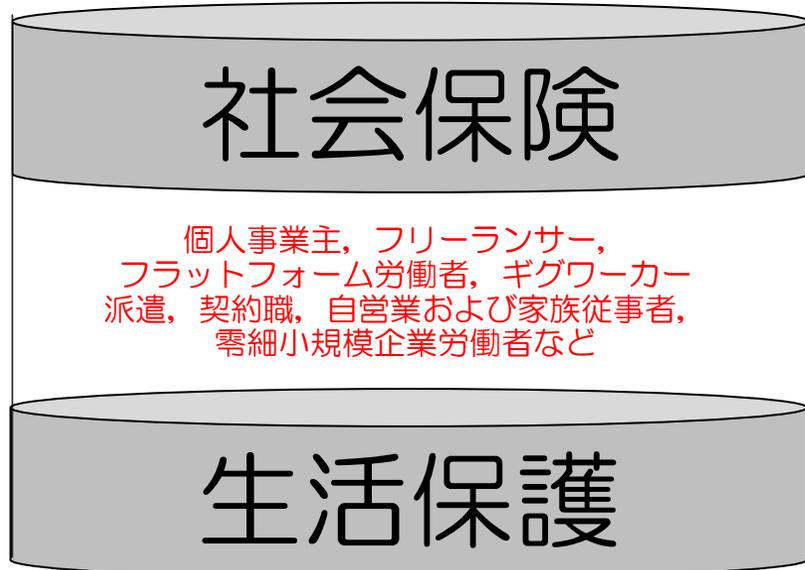
새로운 가난이 온다 新しい貧困が来る



21世紀 韓国の不平等

# 「危機はチャンス！」

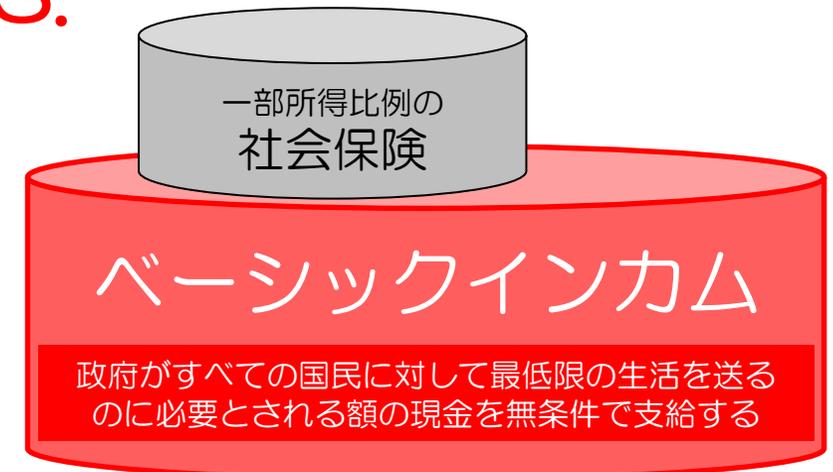
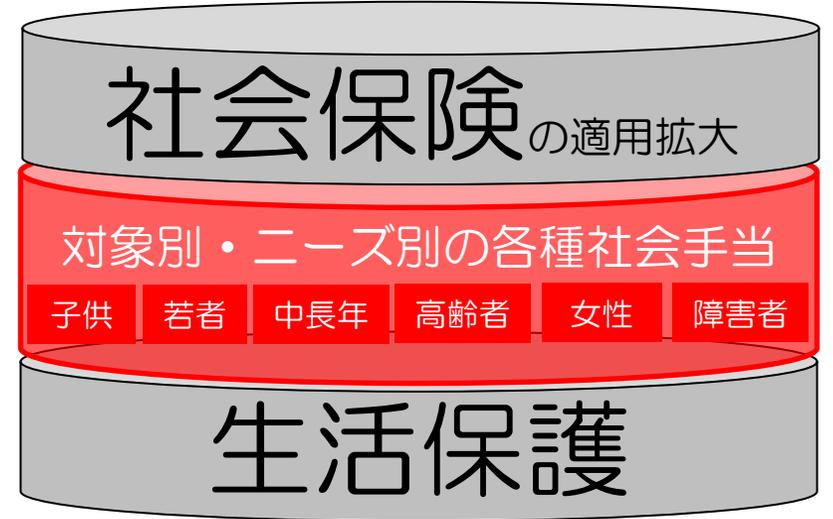
現行の社会保障制度



社会保障の機能強化

ベーシックインカムの導入

VS.



# 社会保障の機能強化か ベーシックインカムの導入か

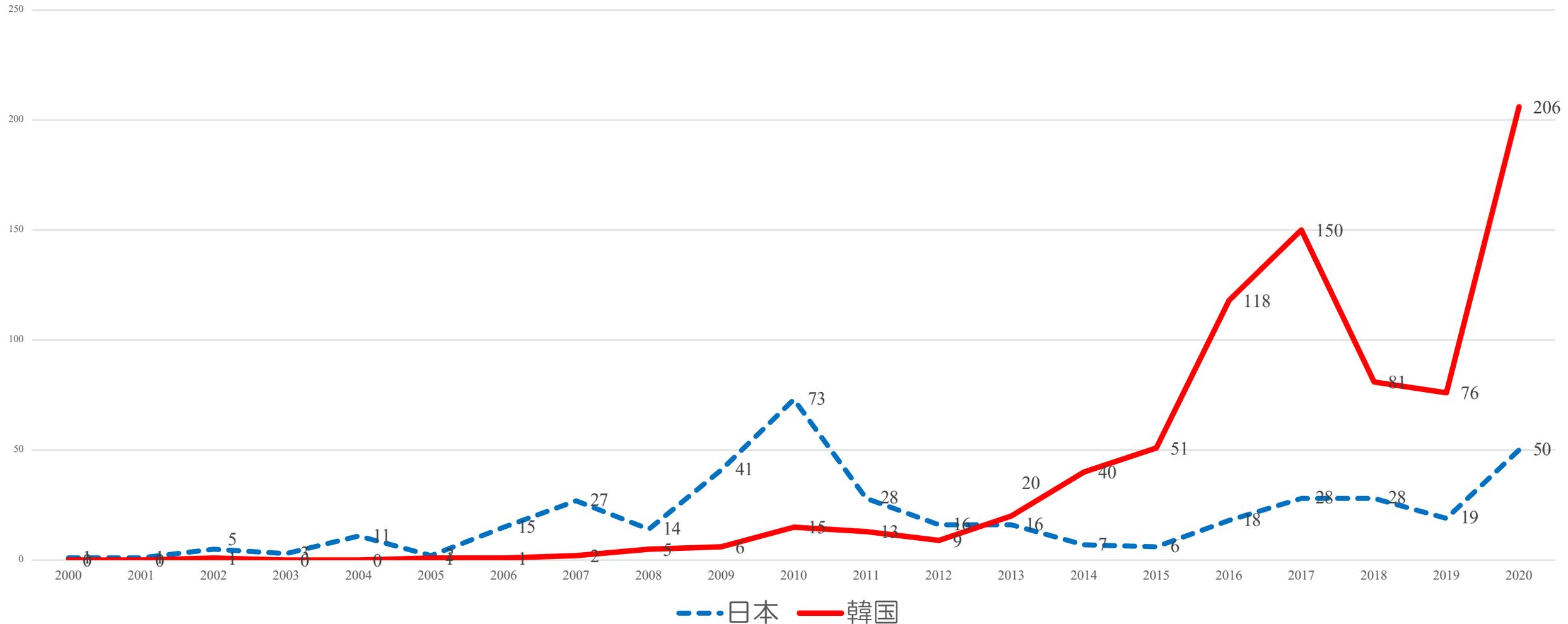
安定した雇用が激減するなか  
雇用を前提とする  
社会保障制度は機能しない。  
全ての人々に無条件に  
現金を給付する  
ベーシックインカムが  
必要だ！



ベーシック  
インカムは  
子どものいない  
世帯に児童手当を  
給付するのと  
同じぐらいの  
政策ミスである。  
いま必要なのは  
人々のニーズに合わせた  
社会保障制度の  
機能強化だ！

# ベーシックインカムへの関心の高まり

## ■ベーシックインカムに関する論文件数の推移



注①検索システム：日本は「CiNii」、韓国は「国会図書館」、②検索語：日本は「ベーシックインカム」、韓国は「基本所得」

# ベーシックインカム導入の可能性

【日本】

竹中平蔵氏

月7万円のベーシックインカムを！

※年金平均額14万7千円 (2017年, 厚生年金保険 (第1号))

【韓国】

李在明 (イ・ジェミョン) 氏

月5万円のベーシックインカムを！

※年金平均額3万5千円 (2017年, 国民年金+基礎年金)

次の韓国大統領の最有力候補・李在明氏  
熱烈な「ベーシックインカム」推進派



# 日本への示唆を考える

---

**隣国の苦悩は、日本の近未来だ。**

(春木育美 (2020) 『韓国社会の現在—超少子化, 貧困・孤立化, デジタル化』中公新書)